

No.106
2016/2/26



OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

新春のつどいを開催しました

1月27日(水)に開催された新春のつどいについて報告します。当日は計30人の職員のみなさまに参加していただきました。

今回のつどいは、新しい試みとして「地酒と海の幸」をテーマとしていたため、いろいろなおいしいお酒や海産物を楽しむことができました。また各支部の状況の報告や歌の企画などもおこなわれ、充実した意見交換・交流の場になったと思います。



話題としては、マイナンバー制度や岐阜大学の内地研究員制度など、最近とくに問題となっているトピックをめぐって活発に意見が交わされていました。大学内でも国のレベルでも、大学職員の労働環境にかかわるさまざまな「改革」が次々となされている状況のなかで、情報を共有し、議論する場の重要性があらためて感じられました。

(地留教支部 柴田 和宏)



要求項目・実態調査アンケートのご報告

昨年末から新年にかけて実施された「要求項目・実態調査アンケート」の報告をいたします。

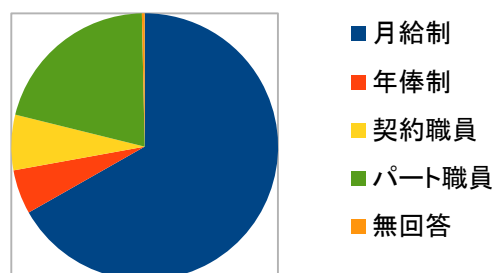
今回のアンケートは、職員の職場の実態を把握し、組合が団体交渉等で取り上げ実現すべき要求項目を明らかにする目的で行われたものです。ごく短期間に行われたにもかかわらず、298名の方から回答が寄せられ、そのうち、20%近い49名の方から、具体的な要求項目を寄せていただきました。この場を借りて、回答を寄せていただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。寄せていただいた要求項目等をしっかり受け止め、団体交渉等で取り上げていく方針です。

アンケートの分析としては、今後、職種毎・所属毎・年齢層毎に行う予定ですが、今回の報告では、全体として集計結果のみ取り上げております。

なお、この報告は暫定的なものです。疑問や意見、あるいは、追加的な要求項目などありましたら、ぜひ組合にお知らせください。

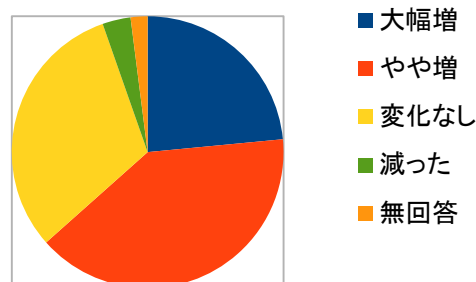
<回答をいただいた職員>

雇用形態については、年俸制の職員、パート職員の増加が回答数（それぞれ、5.4%、20.8%）にも大きく反映しているようです。回答をいただいた職種では、事務職員の方が多く（40%）なっています。組合員でない方からの回答が209名（70%）となっており、幅広い職員の声がよせられていることがわかります。所属に関しては、附属病院が少なくなっていますが、直前に、全大教の看護職員アンケートがあったため、今回については除外した形になっているためです（看護学科は含まれます）。所属（学部等）が無回答の方が135名ありますが、設問の作り方（職種と所属を1つの設問にした）に問題があったように思います。年齢層では、幅広く、ほぼ全員の方から回答をいただいております。勤続年数は60%の方が無回答になっております。年齢層と勤続年数を1つの設問にしたためであると思われる。

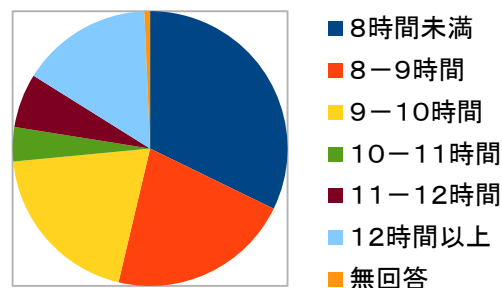


<仕事量と平均労働時間>

「仕事量が増えている」が63%（うち大幅増が23.5%）あるにも関わらず、労働時間はあまり伸びていない（＝残業ができない、残業をさせてくれない？）ことが特徴です。要求項目にも複数そのような回答がありました。「仕事は増えても、残業をさせてくれない」ため、仕事がこなさきれず、未処理のまま積みあがっており、心理的にも追いつめられている状況が想像できます。これは、事務系の職員に多いと思われる。人員を増やすことが求められるのではないのでしょうか。



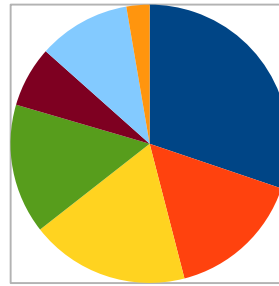
一方、平均労働時間が10時間を超えるような状況は、附属学校教員と学部の教育職員に多くみられます。附属学校教員の長時間労働は人員増などで早急に改善すべきです。一方、学部の教育職員の場合は裁量労働制にも一因があるように思われます。教育や事務的な仕事が多くなり、研究を進めようとする、どうしても労働時間が長くなる状況があり、一方、裁量労働制であるために、「際限なく」労働時間を伸ばしてしまうという状



況があるように思われます。任期制教員や特任教員の場合には、研究成果が雇用に反映するので、このような過酷な状況が生じているのではないのでしょうか。

<有給休暇>

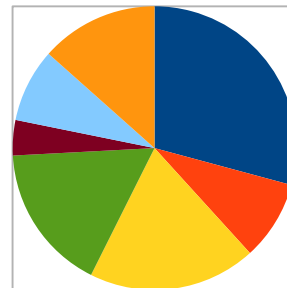
「ほとんど取れない」という状況が常勤職員を中心に生じているようです（常勤職員で取得率50%以上の職員は6%、パート職員の場合でも50%以上取れているのは半数、ほとんど取れない人が16%います）。仕事量が増えていることの反映であると思われます。上に述べたように、残業が取りにくい状況がそれを助長している面もあるようにも思われます（分析必要）。



- 5%未満
- 5-10%
- 10-30%
- 30-50%
- 50-70%
- 70-100%
- 無回答

<希望する昇給>

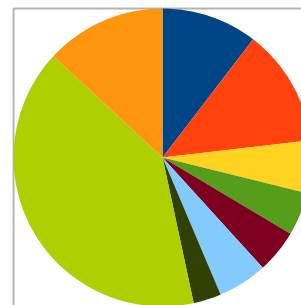
大幅増を求める声はあまり多くない一方で、この間の減給措置、物価上昇、消費税増税に見合った程度の昇給は求めたいという職員が多いように思われます。「現状でよい」という回答も29%ありますが、それは「現在かかえている主要な問題は、ほかにある（仕事内容や仕事量）」という趣旨だと思われます。



- 現状でよい
- 1-2%
- 3-5%
- 6-10%
- 11-20%
- 21%以上
- 無回答

<昇格してからの年数>

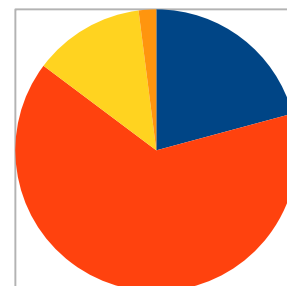
他大学などと比較する必要があるように思われます。「昇格なし」の回答120名の3分の2は、契約職員(20名)、パート職員(62名)の方で、そもそも昇格制度がないことにより、残りの3分の1は、制度があっても着任してから昇格がない方であると思われます。要求項目の回答にもありましたが、昇格制度がない契約職員、パート職員の昇給制度の充実が求められるのではないのでしょうか。



- 1年未満
- 1-3年
- 3-5年
- 5-7年
- 7-10年
- 10-15年
- 15年以上
- 昇格なし
- 無回答

<職場の雰囲気>

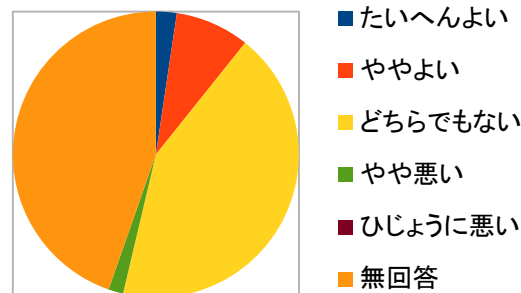
「変わらない」という回答が多いですが、「明るくなった」が「暗くなった」を上回っています。長時間労働が減っていることなどが反映しているかもしれません（分析必要）。要求項目の回答にもありましたが、休憩室や昼食のための部屋（現在は、自分の仕事机で食事をしている職員が多い）、リフレッシュできる設備を充実するなど、「休憩時間にはちゃんと休憩できる」ような改善策が必要だと思われます。



- 明るくなった
- 変わらない
- 暗くなった
- 無回答

<組合の印象>

「大へんよい」「ややよい」が10.7%に対して、「やや悪い」「ひじょうに悪い」が1.7%であり、ほっとする面もありますが、なんといっても「どちらでもない」「無回答」が断然多いのは、多くの職員にとって組合は存在感がないことを意味していると思われます。存在感のある活動・活躍が求められています。



<要求項目の紹介（一部）>

情報公開の促進/パートの雇用年齢制限の廃止/パート職員にも経験に応じた昇給を/パワハラ防止/駐車場（増やすこと、無料にすることなど）/分煙・喫煙所の設置/通勤手当（実費に近いものを、高速料金も考慮する）/任期なし教員に（人生設計ができない）/厳格な勤務評定と具体的な反映策/昇格が差別的/雑用が多すぎる/人員増を/有給休暇の買い上げを/残業時間を正しく報告したい/大学自治、理念を掲げて取り組む/せめて増税分・物価上昇分の昇給を/特任教員の教授会参加を/契約職員の3年期限を廃止/体育館設備の充実（更新）/数字を追うだけの女性管理職登用に問題（保育園の充実などサポートが必要）/駐車場までの防犯灯/暖房設備の改善

その他にも、いろいろのご意見や要求項目がありました。団体交渉の項目に反映させるため、組合は特別委員会を設けて検討を行います。

もちつき大会を行いました ～教育学部支部～

1月20日（水）、教育学部支部の主催により恒例のもちつき大会が開催されました。雪の降った後のとても寒い日でしたが、つきたてのお餅と出来たての豚汁であたたまりました。

参加者は約30人、お子さまや学生の方にもご参加いただき、非常に和やかな雰囲気となりました。

皆様のご協力のおかげで、今回のもちつき大会は盛況のうちに終了いたしました。もち米を蒸したり、臼を用意したりなどの準備にご協力いただきありがとうございました。皆様に厚く御礼申し上げます。

（教育学部支部書記長 小林一貴）

送別会のご案内

今年度は、8名の組合員の方が岐阜大学を去られます。下記の通り、退職される皆様を囲んで送別会を開催します。是非ご参加ください。

日時：3/8（火）12：10～
会場：教育学部7階 第1会議室
参加申し込み：3/3（木）締切



支部役員または組合事務室 内線 9552（shibata@gifunion.gr.jp）まで必ずご連絡ください。